

少海道并松使受膳

朝臣致しとの事千人の四十五度

家祿は給ふ事付めし属し可付

芦原親次郎等二年九人内

現年未々石半 少池仙進

日 殿 勇力

若三人 小先達と免職中付

少海道并松使

七

以事出東京の海島政店に付命を
東京府の属に之を

作命の又少海邊并振使

の廣ら東京居使の行ふ手

其を伺ひ之急

市河内より下り也

辛未正月

少海郡
振使

梅友清中

高使君様

胡臣教のより七午の
日向清氷若

第儲府知事と他院
すあ年暮日

波海勤仕りの

美海鏡法印

少池公の進

大伴一守